



## 編集・発行

国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進センター 〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24

TEL 099-285-3012 E-mail : gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp <https://www.kagoshima-u.ac.jp/atsuhime/>

## ■女性・若手研究者国際シンポジウムin鹿児島大学～ダイバーシティで拓げる研究のみらい～

2019年2月28日（木）に、鹿児島大学Women in Science for Health 研究推進ワーキンググループ（WISH WG）企画、男女共同参画推進センター、URAセンター、グローバルセンターの3センター共同主催で、「女性・若手研究者国際シンポジウムin鹿児島大学」を開催、学内外の女性・若手研究者や大学院生約60人が参加しました。全体進行は和田礼子教授（グローバルセンター）が務め、前田芳寛学長の「ダイバーシティは大学戦略の重要な一つ」との開会挨拶に続き、馬場昌範副学長（国際企画推進担当）から、本学のダイバーシティ研究環境実現に向け、学部・専門の枠を越えた若手・女性・外国人研究者の共同研究体制の構築、国際的な研究プロジェクトの推進、サポート体制のさらなる充実、採用・昇進システムの構築等の必要性やそれを実現していくための契機とするとのシンポジウム開催趣旨の説明がありました。



第1部基調講演は、座長の小原恭子教授（共同獣医学部）から、甲斐知恵子教授（東京大学医科学研究所）の紹介があり、甲斐教授から「致死性ニパウイルス感染症との闘い」と題して、1998年にマレーシアで出現し命名されたニパウイルス感染症についての研究の現状と、ウイルスを保有する自然宿主として解明されたオオコウモリへの対処法や防御法などの感染症との闘いや共存のあり方等について講演がありました。引き続き、座長の岡本実佳准教授（難治ウイルス病

態制御研究センター）から邢惠琴教授（中国廈門大学医学院）の紹介があり、邢教授から「HIV関連神経認知障害の病態」と題して、HIV-1 Tatがc-JunN末端キナーゼ（JNK）シグナル伝達経路を介して多種特異性転写因子であるFOXO3を細胞質から核に移動させ、ニューロンのアポトーシスを引き起こすことを示唆した研究結果等についての英語による講演がありました。講演後には、留学生等からの質問に対して講師から丁寧な回答がなされ、最先端の研究について学ぶ機会となりました。



第2部は、基調講演講師のお二人と、吉崎由美子准教授（農学部 附属焼酎・発酵学教育研究センター）、横田璃里さん（医歯学総合研究科博士課程）、ロドリゴ・ナランホさん（医歯学総合研究科修士課程）が登壇し、「ダイバーシティで拓げる研究のみらい」をテーマに、郡山千早教授（医歯学総合研究科）のコーディネートで意見交換がなされました。

登壇者及び会場の参加者から、「ダイバーシティは個々のあり方が尊重され楽になる」「ライフイベント期については周囲の理解や大学のサポートは必要」「個々の尊重や正しい他者理解はダイバーシティ環境実現に必要」「新たな研究視点には異分野交流が必要」など多くの意見が出され、ダイバーシティ研究環境を実現するための今後の取組の視座を得ることができました。



最後に、島秀典理事・副学長（総務担当）から、「ダイバーシティを推進するためには様々な部署が一丸となる必要があり、その意味でも本シンポジウムの開催は意義深い」との開会挨拶がありました。

閉会后、本学でのダイバーシティ研究環境の実現へ向け発信しようと記念撮影も行われました。

シンポジウム後には交流会が開催され、参加した大学院生や留学生等から、「先進の研究や国際的な研究視点等について直接話を聞くことができたことで、研究者キャリアを考えるよい機会となった」との感想が聞かれ、次世代育成の機会ともなりました。



## 鹿児島大学Women in Science for Health研究推進ワーキンググループ（WISH WG）について

WISH WGは、若手・女性・外国人の増員を主とした優秀な教職員の確保・育成を通じ、教育研究を活性化するために、本学複数部局及び3センター（男女共同参画推進センター、URAセンター、グローバルセンター）の女性研究者によるワーキンググループで、馬場昌範教授（難治ウイルス病態制御研究センター）をアドバイザーとして、以下項目の実現に向けての検討及び必要な取組を行っています。

- \*学系・専門の枠を越えた若手・女性・外国人研究者やURAによる協働研究体制の構築
- \*若手・女性・外国人研究者に対する国際的な研究プロジェクトの推進
- \*若手・女性・外国人研究者サポート体制の更なる充実
- \*若手・女性・外国人研究者の採用・昇進システムの構築

